

事業再構築補助金申請で押さえておくべきポイント

事業計画書（申請書）

以下、事業計画に含めるべきポイントの例；

- 現在の企業の事業、強み・弱み、機会・脅威、事業環境、事業再構築の必要性
- 事業再構築の具体的内容（提供する製品・サービス、導入する設備、工事等）
- 事業再構築の市場の状況、自社の優位性、価格設定、課題やリスクとその解決法
- 実施体制、スケジュール、資金調達計画、収益計画（付加価値増加を含む）

審査項目（予定）

- ①事業化に向けた計画の妥当性
- ②再構築の必要性
- ③地域経済への貢献
- ④イノベーションの促進
- ⑤その他

政策立案者の思い！

ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するための企業の思い切った事業再構築を

事業計画書作成で重要なことは；「**具体性**」「**合理性**」「**説得力**」「**実現性**」

そのためには；

- ① **Fact & Figure**（**事実と数字**） >> 説得力が増す！
- ② **M E C E**（Mutually Exclusive, Collectively Exhaustive）「**漏れなく・ダブリなく**」
>> 上の「事業計画に含めるべきポイント」「審査項目」を全て網羅しているか？
繰り返しがなく、ストーリーがしっかりしていて読みやすいか？
- ③ **審査員の立場に立った**場合、説得力のある内容となっているか？
- ④ **顧客視点**（市場・顧客のことをよく知っているか？自分勝手な計画ではないか？）

事業計画書（申請書）のストーリー（例）

①会社概要

- ◆ 事業概要
- ◆ 売上・利益等の現況
- ◆ 現在の経営課題

②事業再構築の背景・必要性

- ◆ 自社のSWOT（強み・弱み・機会・脅威）
- ◆ コロナの影響
- ◆ 市場・顧客の動向、競合の動向
- ◆ 本業の将来性

③事業再構築の具体的な内容

- ◆ 提供する製品、サービスは具体的に何か？
- ◆ 導入する設備、工事等は付带的に何か？
- ◆ 人への投資は必要か？（人員計画）
- ◆ 競合との優位性はあるか？新規性はどうか？
- ◆ 「思い切ったチャレンジ」といえるか？
- ◆ ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応と言えるか？
- ◆ 再構築の具体的な内容は、顧客のニーズ・行動を考慮しているか？

④補助事業成功に向けての課題・リスク

- ◆ 事業再構築に向け考えられるリスク・課題は何か？

⑤補助事業の実施方法

- ◆ 上の課題・リスクの解決法は？
- ◆ 実施体制は？各T o D oの担当者は？担当者の経験・スキルはOKか？
- ◆ 実施スケジュールは？
- ◆ 資金調達方法は？金融機関と既に相談しているか？

次ページへ

事業計画書（申請書）のストーリー（例）つづき

⑥補助事業の目標（収益計画）

- ◆ 売上目標・収益目標は？また、これらの目標は妥当か？現実的か？（収益計画では、付加価値額も考慮する）
- ◆ 投資回収計画は？

⑦販売・収益目標の根拠は？

- ◆ 具体的なマーケティング計画は？（4P）
 - －ターゲット顧客は？
 - －価格設定は？
 - －販売促進・集客の考え方は？
 - －販路開拓の必要性は？必要であれば、そのアクションとは何か？

⑧補助事業完了後の展望・優位性など

- ◆ 補助事業完了後、期待している効果・会社像は何か？
 - －競合と比した自社の優位性はどうか？
 - －イノベーションにつながるか？
 - －会社の文化・従業員のマインド・ビヘイビアの変革は期待できるか？
 - －地域経済への貢献を期待できるか？
 - －国の政策に合致していることがあるか？

（注）上記は個人的な見解に基づくものであり、実際に申請書作成の参考にするかどうかは自己責任でご判断ください。